

☆ 国語辞典には、慣用的な言い回しとその意味も載っています。□の中に入る言葉を下の□から選んで書きましょう。

- ① 母はすぐ妹の□をもつのでくやしい。
- ② 彼の身勝手な行動に、あいた□がふさがらない。
- ③ この仕事は難しすぎて、わたしの□に余る。
- ④ 彼の生意気な態度が□についてしょうがない。
- ⑤ わたしは、甘いものに□がない。
- ⑥ どうにもこうにも□の虫がおさまらない。
- ⑦ □から火が出るほど恥ずかしい失敗をした。
- ⑧ 今日は□によりをかけて料理を作った。

顔 手 足 歯 肩 腹 耳 目
舌 腰 首 胸 鼻 頭 腕 口

☆ 次の慣用的な言い回しの意味を国語辞典で調べましょう。また、この慣用的な言い回しを使った文を作りましょう。

「腑に落ちない」
意味 ()
文づくり

☆ 次の①～⑧は、()の中のとちらの漢字を使うのが正しいでしょう。辞書で調べて、正しいものを○で囲みましょう。

- ① ケヤキは(堅・固)い木材です。
- ② 水とうのふたを(堅・固)く閉める。
- ③ 県内で映画を(採・撮)っている。
- ④ 検査のために血を(採・撮)る。
- ⑤ 自転車通学の許可を(得・獲)る。
- ⑥ 猟で熊を(得・獲)る。
- ⑦ 夏の制服に(替・換)える。
- ⑧ 列車を乗り(替・換)える。
- ① 新聞に広告を(乗・載)せる。
- ② 子どもを自動車に(乗・載)せる。
- ③ 朝日が(登・昇)る。
- ④ 大山に(登・昇)る。
- ⑤ 優勝を(架・懸)けて戦う。
- ⑥ 橋を(架・懸)ける。
- ⑦ 机と机の間を(放・離)す。
- ⑧ 保護していた鳥を(放・離)す。

世界の国々

新聞記事では、国名を漢字で表すことがあります。下の漢字はどこの国を表していますか。()に国名を書きましょう。また、国旗と国名を線でつなぎましょう。

() 伊 () 中 () 印 ()



☆ 新聞・テレビの報道などで見たり聞いたりする——線の言葉について、読み方と意味を国語辞典で調べて書きましよう。

① 防衛計画の大綱を改定する。

② A国の動きに近隣諸国の懸念が高まる。

③ 金星探査機が、金星の軌道に入るため逆噴射したが、失敗に終わった。

④ 日中首脳会談を要請する。

⑤ 逮捕後、早期に釈放する。

⑥ 世論に答える。

⑦ 欧州連合に加盟する。

アの意味

イの意味
ウの意味

エの意味
オの意味

カの意味

キの意味

クの意味

ケの意味

☆ 家に帰ると、テーブルの上に、左のような暗号文が置いてありました。例を参考にして、暗号文を解きましよう。

例 例えば、「打」は、部首は「てへん」で、「丁」の部分の画数は2画なので、「才2」と書きます。

① 人 2
② 日 0
③ 日 8
④ 彳 9
⑤ 食 4
は

⑥ 魚 0
⑦ の 8
⑧ 彳 3
けだよ。

①
② の
③
④
⑤ は
⑥ の
⑦
⑧
けだよ。

例えば、①だと、部首索引を使って「ひとやね」の最初のページを探します。そして、部首以外の画数が2画の漢字を探すと、「介」か「今」のどちらかであることが分かります。



外来語を漢字で表すと・・・
外来語を漢字で表したものです。何と読むのでしょうか。答えはカタカナで書きましよう。

天麩羅 () 珈琲 ()
金平糖 () 歌留多 ()
瓦斯 () 米 ()

※二百米のように使います。

漢字の筆順と画数

学習日 月 日 ()

☆ 次の漢字は、筆順を間違えやすいものです。正しい筆順で書けているかどうか、確かめてみましょう。例に習って、筆順を書きましよう。

正しい筆順で書くとき、筆の運びが自然で、整った形に書くことができます。



例

一 十 廿 廿 世

推 飛 皮 可 反 方 止 九

--	--	--	--	--	--	--	--

性 成 収 耳 母 臣 必

--	--	--	--	--	--	--

ここに載っている漢字は、全て、筆順を誤りやすい漢字です。必ず解答を確かめて、正しい書き順を覚えましよう。



☆ 次の部首は、画数と筆順の誤りやすいものです。筆順を [] に書き、画数を算用数字で答えてましよう。

女 (おんな・おんなへん)

--

[] 画

又 (えんによう)

--

[] 画

比 (ならびひ・くらべる)

--

[] 画

卩 (こぎと・こぎとへん)

--

[] 画

衤 (ころもへん)

--

[] 画

☆ 次の漢字の赤色で示した部分は何画目に書きますか。算用数字で答えてまさい。

① 有 [] 画目

② 在 [] 画目

③ 里 [] 画目

④ 医 [] 画目

漢語

漢字の音を使った語を漢語といいます。ただし、漢語がいつも漢字であるとは限らず、「ぼく」のように平仮名で書かれていても、漢語であるものもあります。

和語

古くから日本で使われていた語を和語といいます。和語は大和言葉ともいいます。漢字で書かれていても、訓読みをする語は和語です。また、「くがくをくときは、くにくます。」のように文の骨組みを作る言葉は和語でできています。

外来語

外来語は、外国から取り入れた語です。これまで日本語にはなかった事物や考え方を表現することができますが、むやみに多用すると、なじみのない人には伝わらないこともあります。

☆ 次の文に使用されている漢語に——を引きましよう。

- ① 深刻な社会問題になっている就職・採用活動の在り方について考えるシンポジウムが開かれた。
- ② 赤ちゃんに乳歯が生え始めると、「虫歯を作らないようにしたい」と思うのが親心というものだ。
- ③ 弱めの暖房で温かく過ごすためには、家の断熱性を高めることが重要だ。
- ④ ぼくの趣味は考古学です。現地での発掘調査はわくわくします。

混種語

漢語・和語・外来語が組み合わさってきた語を混種語と言います。

- ジェネリック医薬品(外来語+漢語)
- 赤ペン(和語+外来語)

☆ 次の文に使用されている外来語に——を引きましよう。また、混種語には波線を引き、何と何が組み合わさったものかを波線の右側に書きましよう。

- ① エンジンとモーターをへい用するハイブリッド車のレースに勝つポイントは、軽量化とアクセル操作だ。
- ② テレビをはじめ、多様なメディアが映画の宣伝を繰り返している。このようなメディアミックスによって、映画はイベント化している。
- ③ この栄養補助食品は、キャンペーン価格で安く手に入れた。

新聞を調べると、外来語と漢語との混種語がたくさん見つかります。新聞を参考にして、④の問題を自分で作ってみましよう。漢語、外来語、混種語が一文く二文に含まれるような問題を考えてみましよう。



④

古典に出会う 1 学習日 月 日 ()

清少納言の「枕草子」第一段「春はあけぼの。…」では、四季が感じられるものごとを豊かな感覚で書いていましたね。では他の段ではどのようなことを書いているのでしょうか。「うつくしきもの」(一四四段)を読み、あとの問題に答えましょう。

声に出して読もう



うつくしきもの(一四四段)

うつくしきもの。瓜にかきたるちこの顔。雀の子の、

ねず鳴きするにをどり来る。二つ三つばかりなるちご

の、いそぎてはひ来る道に、いと小さき塵のありけるを

目ざとに見つけて、いとをかしげなる指にとらへて、大

人などに見せたる、いとうつくし。頭はあまそぎなるち

ごの、目に髪のおほへるをかきはやらで、うちかたぶき

て物など見たるも、うつくし。

現代語訳

かわいらしいもの。瓜に書いた幼児の顔。雀の子が(人が)ねずみの声をまねて「チューチュー」と呼ぶと、踊るようにはねてくる様子。二、三歳ぐらいの幼児が急いではって来る途中で、とても小さなごみがあったのをめざとく見つけて、とてもかわいらしい指でつまんで見せている様子は、たいそうかわいらしい。髪型は、おかっぱの幼女が、目に髪がおおったのをかき上げもしないで、首をかしげて何かに見入っている姿もかわいらしい。

問題一 一線①・②・③を現代仮名づかいに直して書きましょう。

① () () ② () () ③ () ()

問題二 現代語訳を参考に、一線ア・イの意味を書きましょう。

ア () ()

イ () ()

問題三 現代語訳を参考にして、清少納言が「うつくしきもの」と書いているものが四つあります。現代語で簡潔にまとめて書きましょう。

() ()

() ()

() ()

() ()

わたしたちが日常使っている言葉には、中国の古典に由来するものが多くあり、歴史的な事実やたとえ話などのエピソードを背景にしています。それらを、故事成語といえます。

次の書き下し文は、ある故事成語のもとになった話です。

声に出して読もう



今者^{いましん}臣^{きん}の来^きたる^{とき}、易水^{えきすい}を過^すぐ。ばう方^{まさ}に出
て、曝^{さら}す。而^{しか}していつ其^その肉^{にく}を啄^{つば}む。ばう合^{がっ}して
其^その嘴^{くちばし}を箝^{はさ}む。いつ曰^{いは}く、「今日^{けふ}雨^{あめ}ふらず、明
日^{あした}雨^{あめ}ふらずんば、即^{すなは}ち死^しばう有^あらん。」と。ばう
も亦^{また}いつに謂^いひて曰^{いは}く、「今日^{けふ}出^いでず、明日^{あした}出^い
でずんば、即^{すなは}ち死^しいつ有^あらん。」と。両^{りやう}者^{しや}相^あ舎^すつる
を肯^{がへ}んぜず。漁^{ぎよしや}者^{しや}得^えて之^{これ}をあわせとらふ。

※ばう・・・どぶがい
いつ・・・しぎ(鳥)

現代語訳

今日わたたくしがここへやってきた時、易水の川を通りかかりました。ち
ようどその時、どぶがい水から出てひなたぼっこをしていました。すると
しぎ(鳥)がその肉をつついて食べようとしてました。どぶがいはその殻を閉じ
て、しぎのくちばしを挟んでしまいました。しぎが言うには「今日、雨が
降らず、明日雨が降らなければ、おまえは干上がって死んでしまうぞ。」
と。どぶがいも負けずにしぎに向かって言うには、「今日、おまえのくちば
しを挟んで出さず、明日も出さないとしたら、おまえこそ死んでしま
うぞ。」と。両者とも互いに譲り合おうとしません。とおりかかった漁
師がこの両者を一緒に生け捕りにしたのでした。

問題一 書き下し文と現代語訳を読んだ感想を書きましょう。

問題二 この故事から「両者が争っている間に、第三者が利益を横

取りすること。」という意味でつかわれている言葉を次の中

から選び、○で囲みましょう。

矛盾 五十歩百歩 背水の陣 漁夫の利 推敲

☆ 次の文の中から故事成語を見つけ、に書き出しましょう。また、どんな故事でどんな意味に使われるようになったか、下のから選んで記号で答えましょう。

① 彼のスピーチは完璧だ。

(故事成語) (故事) (意味)

② 彼女の迫真の演技は圧巻だった。

(故事成語) (故事) (意味)

③ 父の心配は杞憂に終わった。

(故事成語) (故事) (意味)

④ 彼は切磋琢磨し合える友達だ。

(故事成語) (故事) (意味)

⑤ 何もかもうまくいかず、五里霧中だ。

(故事成語) (故事) (意味)

【故事】

- ア 後漢の張楷は、五里四方に霧を起こして姿をくちまます術を使った。
- イ 秦の昭王は趙の国の名玉「和氏の璧」を欲しがり、十五の城との交換を求めた。趙の使者は璧を持参したが、昭王が約束を守ろうとしないので、使者は璧を命がけで守り、国に持ち帰った。
- ウ 周の時代、杞の国に、天が落ち地が崩れることを心配し、夜も寝られず、食事もろくに取れない者がいた。
- エ 昔、中国の科挙（高級公務員の採用試験）で、最も優れた答案（巻）を他の答案の上に置いて他の答案を圧した。
- オ 玉や石、骨などを切って、やすりなどで磨くこと。

【意味】

- 1 学問や精神を磨くこと。仲間同士が互いに励まし合い、競い合って、向上すること。
- 2 欠点がなく、完全なこと。
- 3 取り越し苦労をすること。
- 4 小説や演劇などの中で最も優れているところ。途方にくれること。
- 5

☆ 線が引いてあるのは故事成語です。読み仮名を()に書きましょう。

- ① あなたの説明は矛盾だらけで信用できない。()
- ② 蛇足ですが、ひとこと付け加えさせてください。()
- ③ 作文の下書きをじっくりと推敲する。()
- ④ どちらの考えも五十歩百歩だ。()
- ⑤ 人間万事塞翁が馬だ。くよくよすることはない。()
- ⑥ このコンクールはプロのピアニストへの登竜門だ。()
- ⑦ もう悩んでいる暇はない。背水の陣で頑張ろう。()

ここにあげたのは、生活の中で比較的よく使う故事成語です。どのくらい聞いたり、読んだりしたことがあるかな？自分が実際に使ったことがあるものはどれかな？



文節

言葉の意味をこわさず、できるだけ短く区切ったまとまりを文節と言います。文節の区切りには、「ね」などをいれることができます。

例 今日(ね)／ごみ(ね)／収集日(ね)です。

☆ 次の文を文節に区切りましょう。

① つくえの上に赤ペンがある。

② わたしは、昨日学校に花を持って行きました。

③ ぐっすりねたので、今朝はとても気持ちがいい。

④ どうやったら、あんなに上手に手品ができるかふしぎでたまらない。

⑤ 新しいゲームがつぎつぎ発売されるので、ついつい欲しくなってしまう。

単語

文節は、多くの場合、さらに小さく分けることができます。

例 山下さんは、／ペットの／犬を／とても／かわいがっています。

山下さんは、／ペットの／犬を／とても／かわいがっています。

☆ 次の文を、例に習って単語に分け、に書き込みましょう。

① 田中さんは、仲のいい友達です。

② あの人は最後まで仕事をやりとげるので信頼できる。

③ 忘れ物をして困っていたら、佐藤先生が助けてくださった。